

別記様式 6

平成 23 年度第 2 回（第 15 回） 外務省契約監視委員会
議 事 概 要

開催日及び場所	平成 23 年 9 月 30 日（金） 於：外務省 285 号会議室	
委 員	委 員 長 中里 実 委 員 中谷 和弘、三笥 裕、宮本 和之、門伝 明子	
抽出案件		(備考)
一般競争方式（政府調達に関する協定適用対象）	1/16 件	審査対象： 平成23年度第1四半期
一般競争方式（上記以外）	2/93 件	
指名競争方式	1/8 件	
企画競争に基づく随意契約方式	2/69 件	
公募に基づく随意契約方式	1/21 件	
その他の随意契約方式	3/159 件	
合 計	10/366 件	
	意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する外務省の回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
その他		

別紙

委 員	外 務 省
<p>1. 物品・役務等の契約（総括表） （特段の意見等なし）</p> <p>2. 指名停止等の運用状況 （特段の意見等なし）</p> <p>3. 再度入札における一位不働状況 （特段の意見等なし）</p> <p>4. 低入札価格調査制度調査対象の発生状況 （特段の意見等なし）</p> <p>5. 抽出案件の審議</p> <p>①－7「外交行囊の外務本省と日本国在外公館との間の発受」業務委嘱 （一般競争入札：政府調達）</p> <p>○本件請負業者は外資系企業だが、日系企業でも応札が可能なのか。</p> <p>○毎年入札しているのか。</p> <p>②－5「成田空港内施設における各種接遇支援」業務委嘱（一般競争入札） （特段の意見等なし）</p> <p>②－50「国旗類」の購入（一般競争入札）</p> <p>○国旗の製品仕様により、その用途に決まりはあるのか。</p> <p>○購入は毎年必要となるものなのか、また在庫管理もしているのか。</p>	<p>●本件業務を行うことが可能な業者であれば、日系企業でも応札は可能である。</p> <p>●毎年入札している。また前年度に比し入札単価の平均は安くなっており、企業側の努力と思料。</p> <p>●混紡製は風の強い地域の屋外用として、アクリル製は高級感があるため室内公式行事用に使用している。</p> <p>●特に屋外で掲揚するものは消耗も激しいため、その都度購入している。また帳簿付けを行い適切に管理している。</p>

委 員	外 務 省
<p>③-4「国賓、公賓又は公式実務訪問賓客等の京都迎賓館における接遇のためのケータリングサービス」業務委嘱（指名競争入札）</p> <p>○本件指名業者の選定について如何。</p> <p>○資格審査通知書にある「A」「B」とは。</p> <p>○接遇業務においては、滞在期間限定での契約もあるが、本件の場合には年間まとめた契約となっているがどうしてか。</p> <p>○指名競争入札における低入札価格調査の基準はあるのか。</p> <p>④-28「2012年版海外広報用『生け花カレンダー』作成契約（企画競争）</p> <p>○在外公館における配布方法等について如何。</p> <p>④-30「ODA広報テレビ番組制作放映」業務委嘱（企画競争）</p> <p>○毎週1回5分の番組（金曜夜10:54～TV東京系列）であるが、月1回20分、又は3ヶ月に1回1時間とするようなことは可能なのか。またその方が効果的ではないのか。</p>	<p>●当該迎賓館での国公賓等を受け入れるための接遇業務であり、迎賓館との位置関係、ホテルと同様の各種サービス対応、及び質の高さ、また過去の実績等を基準としたものである。</p> <p>●企業における資本金、実績、従業員数等による区分けである。</p> <p>●本件接遇のような場合には、その都度の契約を行うよりも低価格となるためである。</p> <p>●低入札価格調査を行う基準は、予定価格が1,000万円以上の製造等の契約としている。</p> <p>●各公館からの配布については、担当官から先方へ手交するケースも多く、公館毎に有効な配布方法をとるとともに、配布先についても各公館が主体的、有効的に選定している。また各公館への配布数については、前年度実績をベースに各公館におけるニーズなどを調査して決定している。</p> <p>●限られた予算とともに諸般の制約がある中では、一般国民を対象にODAについて感じてくれるといった最大限の効果を図るためには、短時間だが毎週放映する方が効果的なものである。</p>

委 員	外 務 省
<p>⑤—16「第63回IWC年次会合（英国王室属領チャンネル諸島：ジャージー島）における日本政府代表団補助」業務委嘱（公募）</p> <p>○毎年、当該請負者と契約を行っているのか。</p> <p>⑥—8「在外公館警備指導」業務委嘱（随意契約）</p> <p>○本件業務の継続性はどのように考えているのか。</p> <p>⑥—128「戦争危険担保特約」付保契約（随意契約）</p> <p>○仮に外資系など他の保険会社で当該保険を扱う会社があれば、契約先となり得るか如何。</p> <p>⑥—133「旅券冊子ほか旅券関係用紙」作成契約（随意契約）</p> <p>○冊子単価の推移について如何。</p>	<p>●平成20年度より公募を行い、競争性のある形を踏まえて事業者の選定を行っている。</p> <p>●当該業務の継続性の観点を踏まえ、2年に1回、競争性のある入札を行い事業者の選定を行っている。</p> <p>●当該保険は特約保険であり、まずは土台となる保険があり、そこに特約をつける形となるものである。よって当初から共済組合と外資保険会社との間で土台となる保険契約があれば可能と思料。</p> <p>●冊子単価は、作成設備・開発費等の減価償却等により、少しずつ廉価になってきている。</p>